


PARTYBOX ON-THE-GO



重要な安全上の注意

全製品向け:

1. 説明書をよくお読み下さい。
2. 大切に保管してください。
3. ここに示した注意事項を必ずお守りください。
4. 全ての指示に従う。
5. 通気開口部をふさがない。メーカーの説明書に従って機器を設置する。
6. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブまたは発熱する他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くにこの機器を設置しない。
7. 極性プラグまたは接地タイププラグの安全目的に違反しない。極性プラグには2つのブレードがあり、片方がもう一方よりも広くなっている。接地タイププラグには2つのブレードがあり、3番目のアースが分岐している。広いブレードまたは3番目のピンは安全のために取り付けられている。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気工に相談して旧式のコンセントを交換する。
8. 電源コードの上を歩いたり、電源コードを挟んだりしない(特にプラグ、コンセントおよび機器から出ている部分)ように保護する。
9. メーカーによって指定された付属品のみを使用する。
10. メーカーによって指定された、または機器に同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用する。カートを使用する場合、転倒による怪我を避けるためにカートに載せて機器を移動する際には注意する。
11. 雷雨の間、または長期間使用しない場合はこの機器のプラグを抜く。
12. AC電源をこの機器から完全に外すには、AC電源差し込み口から電源コードを引き抜きます。
13. 電源コードの主電源プラグはいつでも使用可能な状態にあるものとする。
14. バッテリーを日光、火、または類似した過度の熱にさらさないこと。
15. この機器はメーカーによって提供された電源や充電ケーブルのみの使用は意図します。

注意

感電の恐れあり。開けないでください。



正三角形で囲まれた矢印付きの落電シンボルは、人体が感電するのに十分な強度の、絶縁されていない“危険な高電圧”がこの製品の筐体内に存在することをユーザーに警告するために使用されます。



正三角形で囲まれた感嘆符は、操作およびメンテナンス(修理)に関する重要な指示が製品に同封の取扱説明書に記載されていることをユーザーに知らせるために使用されます。

警告: 火災または感電を避けるため、本機を雨水または湿気にさらさないでください。

ユーザー向けFCC警告およびICステートメント(米国およびカナダのみ)

このデバイスはFCCルールのパート15に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします:(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはならない、および(2) このデバイスは好ましくない操作を引き起こす可能性がある干渉を含めて、必ず受信した干渉を受け入れなければならない。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

米連邦通信委員会の干渉に関するステートメント

この機器はFCCルールのパート15に基づいて、クラスBデジタルデバイスのリミットに適合するように試験され、確認されています。このリミットは、住宅での設置において有害な干渉から適切に保護するために設定されています。この機器を製造し、使用すると無線周波数エネルギーを放出する可能性があり、説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特殊な設置状況においては、干渉が生じないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす(機器の電源をつけたり消したりすれば確認できます)場合、以下の1つまたは2つ以上の方法により、ユーザーが干渉の排除を試行することを推奨します。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 機器とレシーバー間の距離を空ける。
- レシーバーが接続されている回路とは異なる回路上のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。

警告: HARMANに明確に認められていない変更や改造を行うと、ユーザーのこの機器の操作権限が無効になることがあります。

RFエネルギーを送信する製品向け

ユーザー向けのFCCおよびIC情報

このデバイスはFCCルールのパート15、およびカナダ産業省のライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします:(1) このデバイスは有害な干渉を生じてはならない。(2) このデバイスは望まない操作を引き起こす可能性がある干渉を含めて、必ず受信した干渉を全て受け入れなければならない。

FCC/ICの放射線被曝ステートメント

この装置は、制御されていない環境において規定されたFCC/IC RSS-102の放射線被曝限度に準拠しています。

FCC警告:

高出力レーダーは5.25~5.35GHzおよび5.65~5.85GHz帯の主要なユーザーに割り当てられます。これらのレーダー局はこのデバイスに干渉し、損傷を与える可能性があります。このワイヤレス機器は設定制御を備えていないので、FCCルールのパート15.407に従った米国での動作向けの、FCCが許諾していない動作周波数の変更はできません。

IC警告:

ユーザーは次のアドバイスを受ける必要もあります:

- (i) 5150~5250MHz帯で動作する本デバイスは、同一チャンネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を減らすため、屋内でのみ使用できます。
- (ii) デバイス向けに認められた5250~5350MHzおよび5470~5725MHz帯の最大アンテナゲインは等価等方放射電力に準拠するものとします。リミット: および(iii)

5725～5825MHz帯のデバイスに認められた最大アンテナゲインは等価等方放射電力に準拠するものとします。ポイント・ツー・ポイントおよび非ポイント・ツー・ポイント動作を適切として指定されたリミット。(iv) また、ユーザーは5250～5350MHzおよび5650～5850MHz帯の主要なユーザー（優先ユーザー）として高出力レーダーを割り当てられ、これらのレーダーがLE-LANデバイスに干渉したり、損傷を生じさせる可能性があるというアドバイスを受ける必要があります。

人体のRFフィールド (RSS-102) への被曝

コンピューターは一般住民に対するカナダ保健省のリミットを超えるRFフィールドを発生しない低ゲインの統合アンテナを採用しています。カナダ保健省のウェブサイト<http://www.hc-sc.gc.ca/>で読むことができる安全規則6を参照してください。

ワイヤレスアダプターに接続されたアンテナから放射されるエネルギーはIC RSS-102, 5号4項に関するRFの被曝要件のICリミットに従っています。SARテストは、人体から最も離れたデバイスから発せられる、FCC/RSSによって認められた推奨動作位置を用いて行われます。上記の制限を順守していない場合は、FCC RF被曝ガイドラインに違反している可能性があります。

使用制限: フランスでの注意事項、操作は5150～5350MHz内の屋内での使用に限られています。

外部アンテナを使用できるラジオレシーバー付きの製品用 (米国のみ)

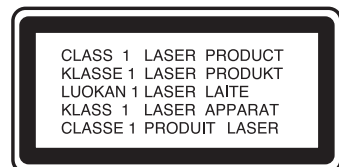
CATV (ケーブルTV) またはアンテナのアース

屋外のアンテナまたはケーブルシステムがこの製品に接続されている場合、電圧の上昇や静電荷に対して安全であるようにアースされていることをお確かめください。米国電気工事規定 (NEC) のセクション810、ANSI/NFPA No. 700-1984はアンテナ塔と支持構造の適切なアース、アンテナ放電ユニットへの引き込み線のアース、アース導体、アンテナ放電ユニットの位置、接地極への接続と電極の必要性に関する情報を提供します。

CATVシステム設置者への注意

この覚書は、NEC (米国電気工事規定) の条項820-40にCATV (ケーブルTV)システム設置者の注意を喚起するために提供されています。この条項は適切なアースのガイドラインを定め、特にケーブルの位置が、できるだけケーブルの導入口の地点に近くになるように規定しています。

警告: この製品はレーザーシステムを使用しています。レーザーに直接被曝することを防ぐために、キャビネットのエンクロージャーを開けたり、保護のために取り付けられている安全機構を無効にしないでください。絶対にレーザービームを起動させないでください。この製品を確実かつ適切に使用するため、取扱説明書をよく読んで、後の使用のために保管してください。万一ユニットのメンテナンスまたは修理が必要な場合は、現地のJBLサービスにご連絡ください。資格のある人物以外に修理を任せないでください。



全EU域国向け

オーディオ出力を備えた製品用

難聴の予防



警告: 長期間大音量でイヤホンまたはヘッドホンを使用した場合、回復不能の難聴になることがあります。

この製品はフランス向けに、NF EN 50332 L.5232-1に該当して制定された音圧レベル要件に準拠するようにテストされています。

注:

- 難聴になることを防ぐため、長期間大音量で音楽を聴かないでください。

WEEE警告

2014年2月14日にEU法として施行されたWEEE指令 (The Directive on Waste Electrical Equipment) は使用が終了した電子機器の取り扱いに大きな変化をもたらしました。

この指令の最優先目的は、電子機器の廃棄を回避することです。次に、廃棄物を減らすために廃棄物の再利用、リサイクル、その他の形式の回収を促すことです。

商品や箱に掲載されている、電気・電子機器の回収を意味するWEEE指令のロゴは、下の図のように車輪にバツ印の付いたゴミ箱でできています。



この商品は絶対に他の家庭ごみと一緒に処分や廃棄してはいけません。電気・電子機器は必ず、危険廃棄物のリサイクル用の指定された回収場所に持っていき処分する責任があります。電気・電子機器廃棄物を処分する際に、隔離と適切な回収によって、天然資源の保存に一役買う事ができます。さらに、適切なリサイクルと回収場所については、現地の市役所、家庭ごみ処理サービス、機器を購入した店または製造者に問い合わせてください。

RoHSコンプライアンス

この製品は、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する2011年 6月8日の欧州議会及び理事会指令 (2011/65/EU) に準拠しています。

電池を含む製品用

EU電池指令2013/56/EU

これまでの指令に替わる、電池と蓄電池についての新たな電池指令2013/56/EUが2015年7月1日に発効しました。この指令は、あらゆるタイプの電池および蓄電池 (単三電池、単四電池、ボタン電池、再充電パック) に適用され、軍事、医療、電力ツールアプリケーションを除く機器に組み込まれた電池を含みます。この指令は電池の収集、処理、リサイクル、廃棄の際のルールについて述べており、特定の有害物質の使用を禁止し、サプライチェーン内の電池と全ての関係者の環境への悪影響の改善を目的としています。

ユーザーによる電池の取り外し、リサイクル、廃棄手順

お持ちの機器またはリモコンから電池を取り外すには、取扱説明書の電池の装着に記された手順の逆を実行してください。製品の耐用年数まで持つ電池内蔵の製品の場合は、ユーザーによる取り外しができないことがあります。この場合、リサイクルや回収、同種の電池の交換が必要になれば、認定サービスセンターがこの手順を実行する必要があります。EUや他のいくつかの国では、どんな種類のバッテリーでも家庭ゴミに捨てるのは違法です。バッテリーは全て、環境に悪影響を与えない方法で廃棄する必要があります。環境に悪影響を与えない使用済み電池の回収、リサイクル、および廃棄については地元の廃棄物処理当局にご連絡ください。

警告: 電池の誤った取り外しを行うと、爆発の危険があります。火事または火傷のリスクを低減するには、分解したり、つぶしたり、傷つけたり、外部接触によってショートさせたり、60°Cを超える温度にさらしたり、火または水の中に廃棄したりしないようにしてください。取り替えられるのは、指定された電池だけです。あらゆる電池および蓄電池の「別々に収集」の記号は下記のバツ印の付いた車輪付きゴミ箱を指すものとします:



電池、蓄電池、ボタン電池が0.0005超の水銀、0.002%超のカドミウム、0.004%超の鉛を含んでいる場合、その金属に関する化学記号をつけるものとします:それぞれHg、Cd、Pbです。以下の記号をご参照ください:



警告: 絶対に電池を飲み込まないでください。化学火傷の危険があります [付属のリモコン] この製品にはコイン/ボタン電池が含まれます。コイン/ボタン電池を飲み込んだ場合は、わずか2時間で深刻な内部火傷を引き起こし、死に至る可能性があります。新しい電池、および使用済み電池は子供の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ、または体内のどこかにあると思う場合は、直ちに治療を受けてください。

ワイヤレス操作する製品を除く全製品について

ハーマンインターナショナル(HARMAN International)は、この機器がEMC 2014/30/EU指令、LVD 2014/35/EU指令に従っていることをここに宣言します。法令順守宣言は、www.jbl.comからアクセス可能な当社のウェブサイトのサポートセクションで閲覧することができます。

ワイヤレス操作を行う全製品について

ハーマンインターナショナル(HARMAN International)はこの機器が2014/53/EU指令の必須条件および他の関連条項を順守していることをここに宣言します。法令順守宣言は、www.jbl.comからアクセス可能な当社のウェブサイトのサポートセクションで閲覧することができます。

目次

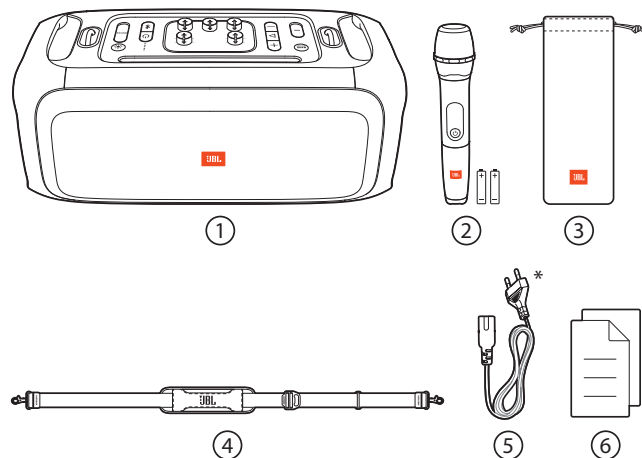
重要な安全上の注意	2	9. 仕様	14
1. はじめに	6	10.トラブルシューティング	15
2. 同梱品	6	11.法令順守	16
3. 製品の概要	7	12.商標	16
3.1 トップパネル	7		
3.2 背面パネル	7		
4. 設置	8		
5. 電源オン	8		
6. PARTYBOXを使う	9		
6.1 BLUETOOTH接続	9		
6.2 USB接続	9		
6.3 AUX端子接続	10		
6.4 曲操作	10		
6.5 マイクおよび/またはギターとのサウンドのミキシング	10		
6.6 モバイルデバイスを充電する	12		
7. PARTYBOXを持ち運ぶ	12		
8. 進んだ使用方法	13		
8.1 ライト効果	13		
8.2 TWSモード	13		
8.3 初期化	13		
8.4 IPX4	14		

1. はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書にはPARTYBOX ON-THE-GOスピーカーについての情報が記載されています。少々お時間を頂き、この取扱説明書に目を通されますようお願い致します。製品の説明と、設定して使用を始めるための手順が記載されています。製品をご使用になる前に、安全上の注意を全て読み、理解してください。

この製品、その設置または操作について何かご質問がありましたら、小売店もしくはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comにアクセスしてください。

2. 同梱品

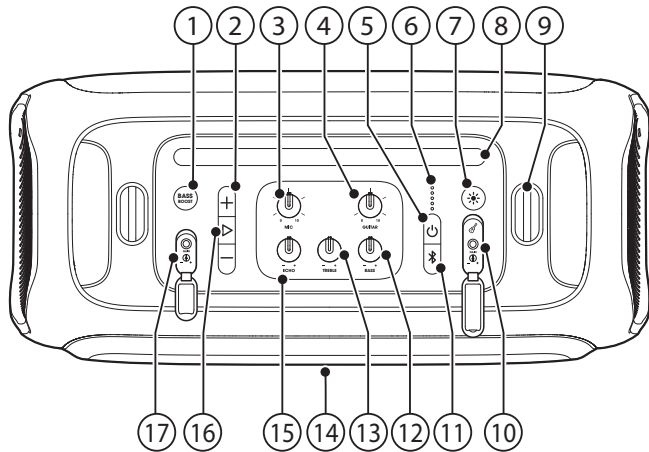


- 1) 本体
- 2) ワイヤレスマイク (単三アルカリ乾電池2本付属)*
- 3) マイクのポーチ
- 4) ショルダーストラップ
- 5) 電源コード*
- 6) クイックスタートガイド、安全シート、保証書

*電源コードの本数、プラグタイプ、マイクの本数は販売される地域によって異なります。

3. 製品の概要

3.1 トップパネル



- 1) **BASS BOOST**
 - 低音レベルを上げます: レベル1、レベル2、またはオフ。
- 2) **+ / -**
 - 通常の音量を調節します。
- 3) **MIC 音量**
 - マイクの音量を調節します (接続されている場合)。
- 4) **GUITAR 音量**
 - ギターの音量を調節します (接続されている場合)。
- 5) **⏻**
 - 電源をオンまたはオフにします。
- 6) **●●●●●**
 - バッテリーレベルインジケータ
- 7) **✳**
 - 押すと、ライトパターンを切り替えます。
- 8) **モバイルデバイスドック**
- 9) **ショルダーストラップのフック**
- 10) **GUITAR 入力**
 - : ギターに接続します。
 - **GAIN**: ギターゲインを調節します。
- 11) **✳**
 - 押すと、Bluetoothペアリングモードに入ります。
 - 5秒以上長押しすると、トゥルーワイヤレスステレオ (TWS) ペアリングモードに入ります。
 - 20秒以上長押しすると、全てのペアリングされたデバイスを消去します。
- 12) **- BASS +**
 - 低音レベルを調節します。
- 13) **- TREBLE +**
 - 高音レベルを調節します。
- 14) **LEDリング**
- 15) **- ECHO +**
 - エコーレベルを調節します。

16) ▷

- 再生、一時停止または再開。

17) MIC入力

- マイクソケット: マイクに接続します。
- **GAIN**: マイクゲインを調節します。

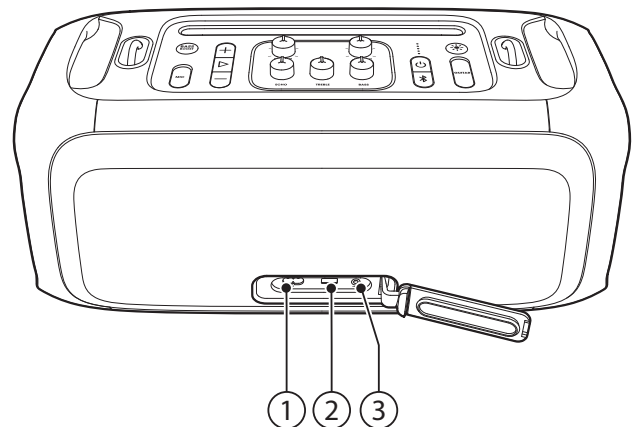
警告:

- スピーカーのライトが点灯した時に、発光部を直接見ないでください。

LEDの状態

⏻	○ 白色で点灯	電源オン
	● 赤色で点灯	スタンバイ
	● オフ	電源オフ
✳	☀ 白色で素早く点滅	ペアリング
	○ 白色(点灯)	接続済み
	● オフ	未接続
BASS BOOST	○ 白色で点灯	オン
	● オフ	オフ
●●●●●	● 赤色で素早く点滅	バッテリー残量少
	☀ 白色でゆっくり点滅	充電中
●●●●●	○ 白色で点灯	スピーカーがフル充電されると、5つ全てのインジケータが白色で点灯します。

3.2 背面パネル



1) ⚡(AC)

- AC電源に接続します。

2) (USB)

- USBストレージデバイスに接続します。
- モバイルデバイスを充電します。

3) (AUX)

- 3.5mmオーディオケーブル(別売)を通して外部オーディオデバイスに接続します。

4. 設置

警告:

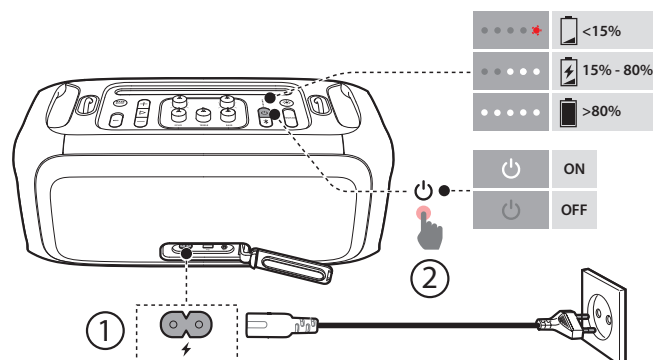
- スピーカーの上に座ったり、スピーカーを押ししたりしないでください。故障したり、怪我や所有物の損傷の原因になることがあります。

スピーカーを平らな安定した面に置き、ゴム足の付いた面が下になっていることを確認してください。

5. 電源オン

警告:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- スピーカー電源として、AC電源か内蔵バッテリーのどちらかを使用します。



1. AC電源に接続。
 - 内蔵バッテリーを使用するには、スピーカーの充電後、AC電源への接続を切ってください。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。

ヒント:

- 初めてご使用になる前にスピーカーをフル充電すると、内蔵バッテリーの寿命が延びます。
- バッテリー寿命を保つため、最低3か月に1回はフル充電してください。バッテリー駆動時間は使用パターンや環境条件によって異なります。
- スピーカーのボタンのどれかを押し、バッテリーレベルをチェックすることができます。
- 20分間操作をしないと、スピーカーは自動的にスタンバイモードに切り替わります。スピーカーの電源ボタンを押すと、通常の操作に切り替わります。

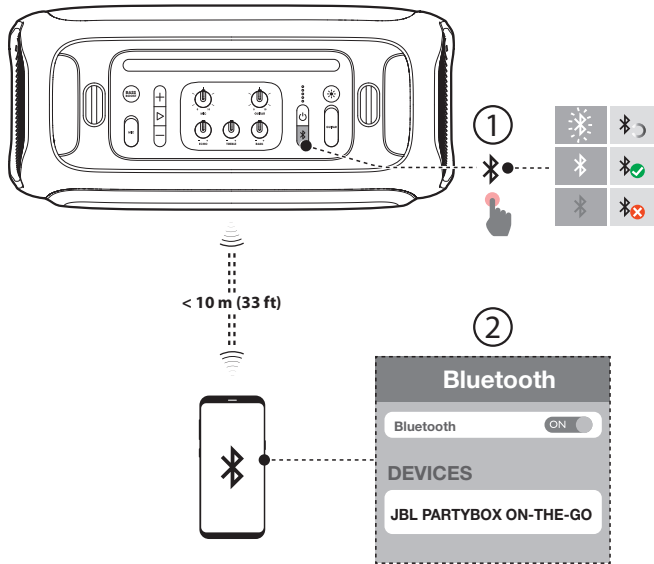
6. PARTYBOXを使う

注:

- 1度に再生できる音源は1つだけです。その優先順位は USB->Bluetooth->AUXの順です。
- 優先順位の高いソースで開始すると、優先順位の低いソースは常に遮断されます。
- 優先順位の低いソースで始めるには、まず優先順位の高いソースをストップさせてください。

6.1 Bluetooth接続

Bluetooth対応のスマートホンまたはタブレットと一緒にこのスピーカーを使用することができます。



1. Bluetoothペアリングモードに入るには、スピーカーのBluetoothボタンを押します。
2. Bluetooth対応デバイスの「JBL PARTYBOX ON-THE-GO」を選択して接続します。
3. 接続に成功すると、Bluetooth対応デバイスからこのスピーカーにオーディオがストリーミングされます。

注:

- このスピーカーには、最大で8台のデバイスを記憶させることができます。9台目のデバイスをペアリングすると、最初のデバイスが消去されます。
- Bluetooth対応デバイスに接続する際にPINコードを要求された場合は、「0000」と入力してください。
- Bluetoothのパフォーマンスは、この製品とBluetooth対応デバイス間の距離、および操作環境に影響される可能性があります。

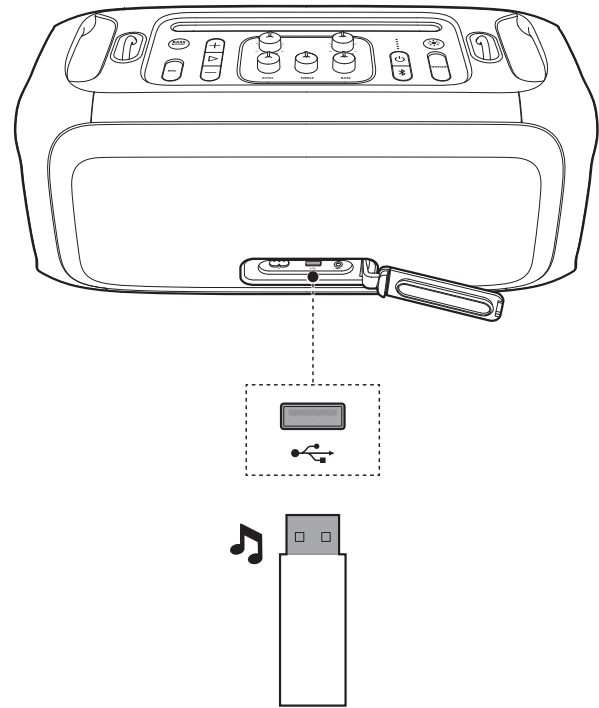
Bluetooth対応デバイスの接続を解除するには:

- このスピーカーの電源をオフにするか、または
- お持ちのデバイスのBluetooth機能を無効にします。

Bluetooth対応デバイスを再接続するには:

- 次回スピーカーの電源を入れる時は、自動的に、最後に接続したデバイスへ再接続を試みます。
- そうならない場合は、Bluetooth対応デバイスで「JBL PARTYBOX ON-THE-GO」を手動で選択し、接続します。

6.2 USB接続



スピーカーのUSBポートに、再生可能なオーディオコンテンツが入っているUSBストレージデバイスを差し込んでください。

→ 自動的にオーディオ再生が開始されます。

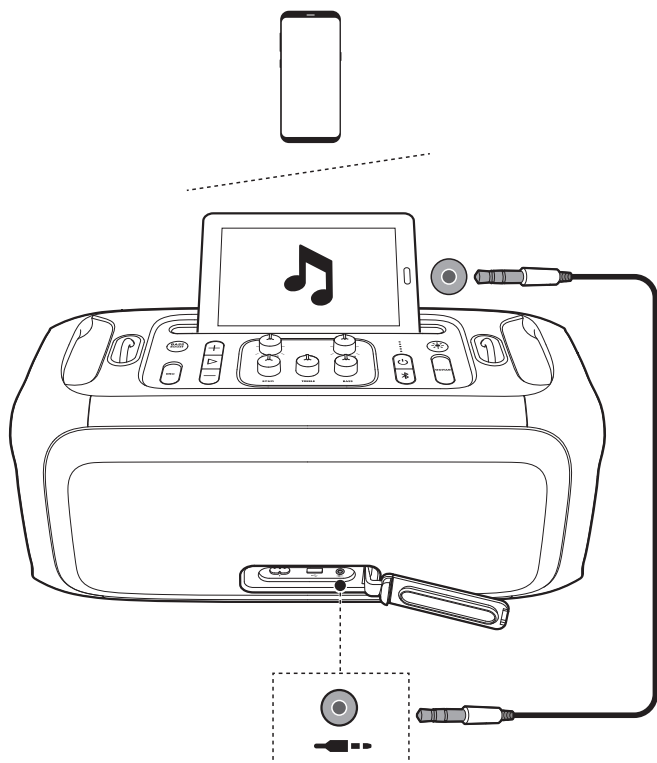
ヒント:

- スピーカーがアルファベット順にルートフォルダーから最終レベルのサブフォルダーまで、USBストレージデバイスのオーディオファイルを再生します。最高8レベルのサブフォルダーに対応しています。

対応するオーディオフォーマット

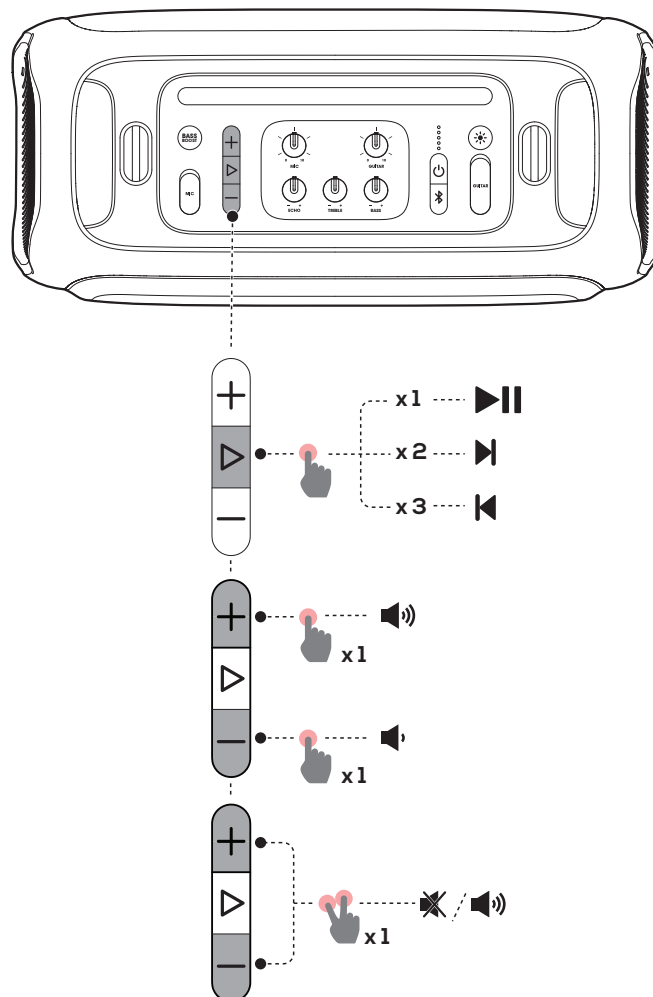
拡張子	コーデック	サンプルレート	ビットレート
WAVE	PCM	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
	LPCM	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
	IMA_ADPCM	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
	MPEG	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
MP3	MPEG1 レイヤー1/2/3	32KHz~48KHz	32Kbps~320Kbps
	MPEG2 レイヤー1/2/3	16KHz~24KHz	8Kbps~160Kbps
	MPEG2.5 レイヤー3	8KHz~12KHz	8Kbps~160Kbps
WMA		320Kbps以下	8Kbps~48Kbps

6.3 AUX端子接続



1. 3.5mmオーディオケーブル(別売)を通してスピーカーに外部オーディオデバイスを接続します。
2. 外部デバイスでオーディオ再生を開始します。

6.4 曲操作



- 再生を一時停止、または再開するには1回▶▶ ボタンを押してください。
- ▶ ボタンを2回押すと、次のトラックへスキップします。
- ◀ ボタンを3回押すと、前のトラックへ戻ります。
- +/-ボタンを押して通常の音量の増減を行います。
- +および-ボタンを同時に長押しすると、サウンドをミュート、またはミュート解除します。

注:

- スキップ操作はAUXモードでは使用できません。

6.5 マイクおよび/またはギターとのサウンドのミキシング

マイクまたはエレキギター(別売)を使用すれば、オーディオソースにサウンドをミックスすることができます。

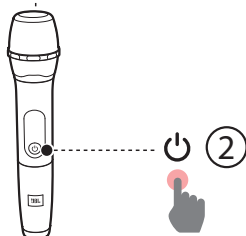
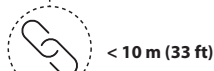
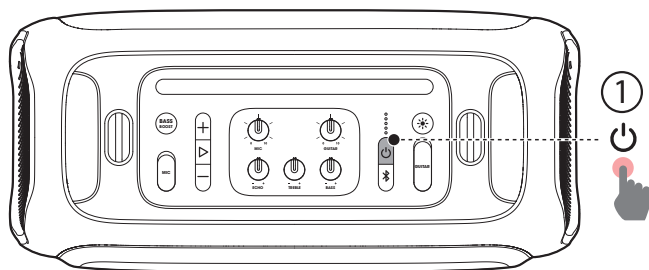
注:

- ギターまたはマイクの接続/接続解除を行う前は、必ずギターまたはマイク音量を最低レベルにセットしてください。
- ギターまたはマイクを使用していない場合は、必ずギターまたはマイクの接続を解除してください。

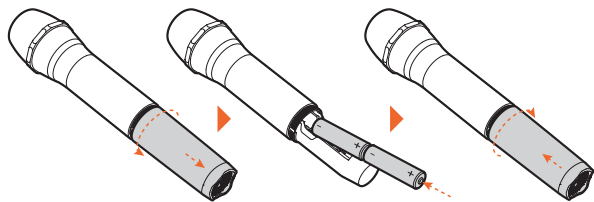
6.5.1 マイクの接続

付属のワイヤレスマイクを接続するには

初期設定では、ワイヤレスマイクはスピーカーにあらかじめペアリングされています。



1. 単三アルカリ乾電池2本を正しい極性で入れてください。



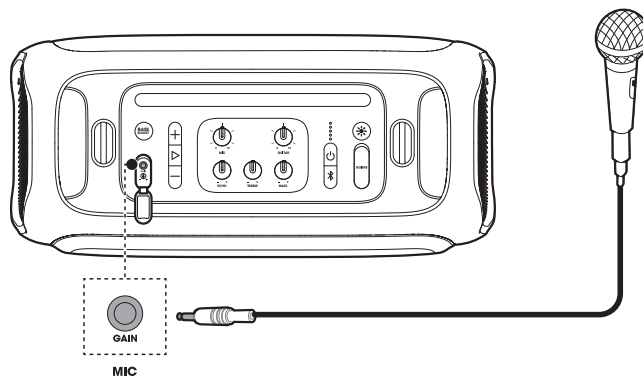
2. 次に、スピーカーと付属のワイヤレスマイクの電源を入れてください。

→ 自動的にワイヤレス接続が設定されます。

注:

- 操作をせずに10分経つと、自動的にマイクの電源が切ります。
- 最大2本のワイヤレスマイクに対応しています。マイクの購入方法については、詳細を販売店にお問い合わせください。

有線マイク(別売)を接続するには



新しいワイヤレスマイクを接続するには

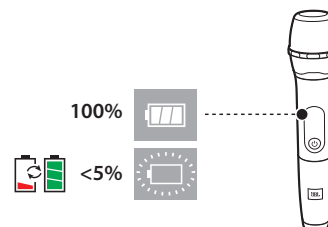
1. スピーカーの電源を切ります。
2. 新しいワイヤレスマイクの電源を入れ、スピーカーの上面に置きます。
3. スピーカーの電源を入れます。
→ マイクがペアリングされ、3分以内に自動でスピーカーに接続されます。

ワイヤレスマイクの電池を交換するには

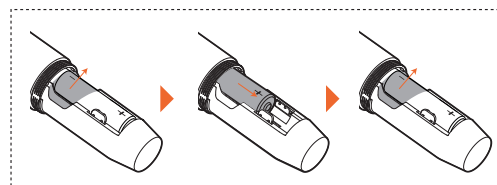
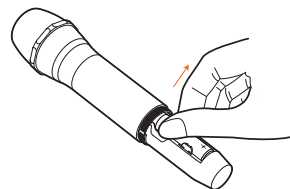
警告:

- 電池を混ぜて(新旧、または炭素とアルカリなど)使用しないでください。
- 電池を使い切った場合、またはマイクを長時間使用しない場合は電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれているので、正しく廃棄する必要があります。

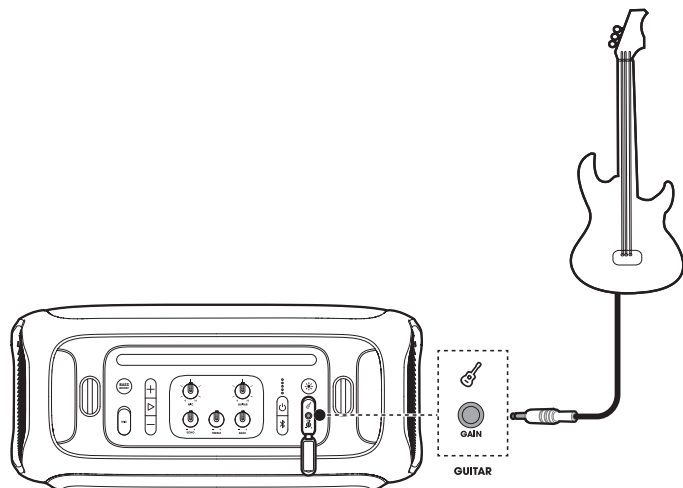
1. 電池残量をチェックしてください。



2. 残量が少ない場合は、新しい電池に交換してください。



6.5.2 ギターの接続

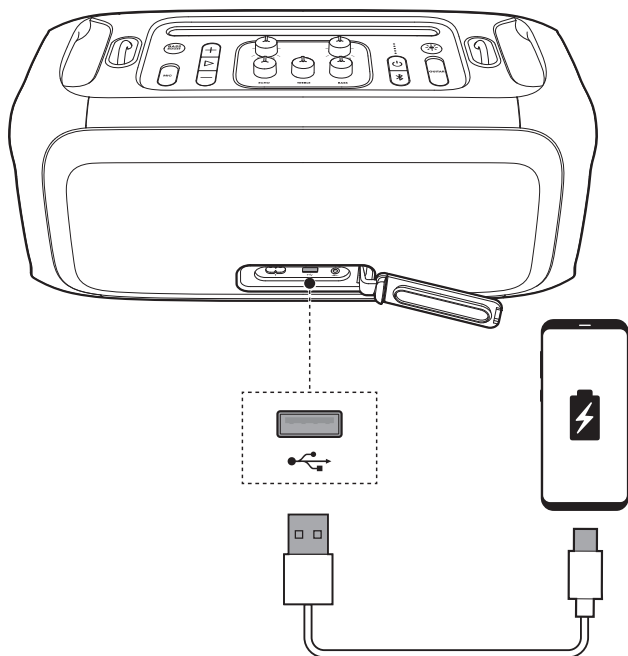


6.5.3 サウンドのミキシング

マイクを通して歌うか、ギターを演奏します。

- オーディオソースの音量を調節するには、+/-ボタンを押します。
- マイクまたはギターの音量を調節するには、MICまたはGUITAR音量ノブを回します。
- 有線マイクまたはギターのゲインを調節するには、MICROPHONEまたはGUITARのソケットのそばにあるGAINコントロールを回します。
- エコー、マイク（ワイヤレスまたは有線のどちらか）の高音および低音レベルを調節するには、ECHO、TREBLE、BASSの各つまみを回します。

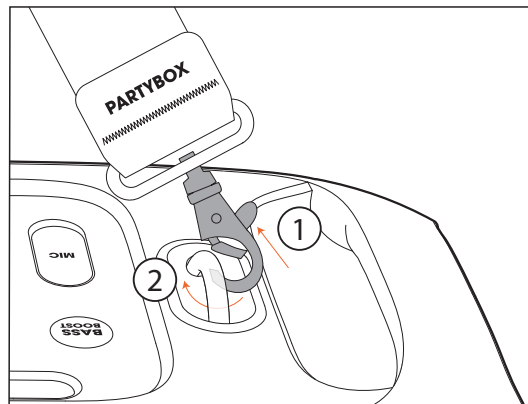
6.6 モバイルデバイスを充電する



7. PARTYBOXを持ち運ぶ

警告:

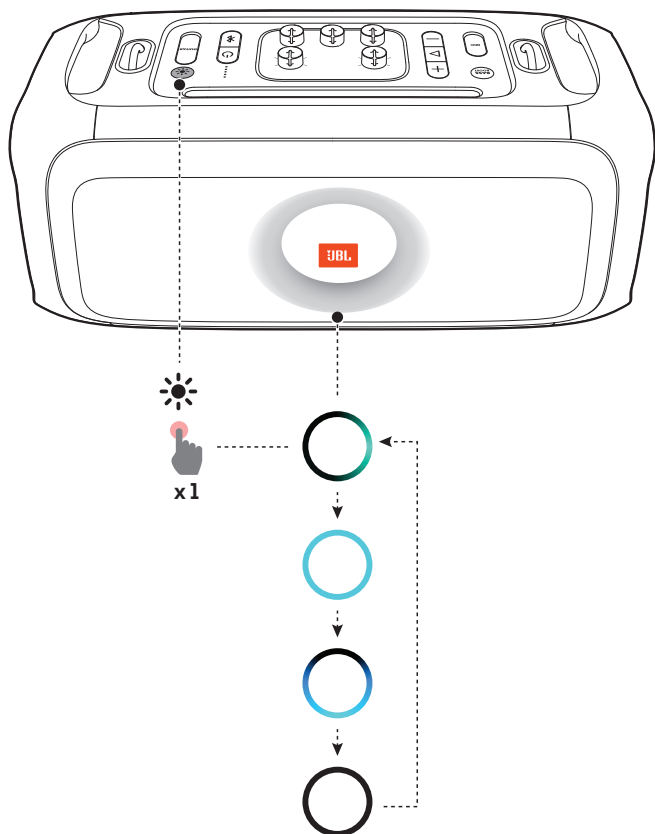
- スピーカーを持ち運ぶ前に、全てのコードが外されていることをご確認ください。
- 怪我や所有物の損傷を避けるため、持ち運んでいる間は製品をしっかり持ち、使用していない時はストラップを外してください。



移動中は付属のショルダーストラップを使用してスピーカーを持ち運んでください。

8. 進んだ使用方法

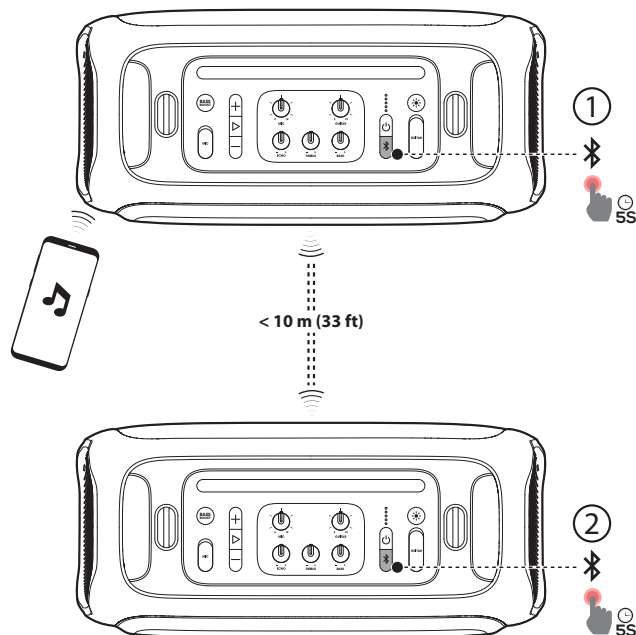
8.1 ライト効果



☀ ボタンでお好みのライト効果を選択してください:ロック、ネオン、クラブ、またはオフ。

8.2 TWSモード

TWSモードを通して、2台のPARTYBOXスピーカーを互いに接続させることができます。



両方のスピーカーのBluetoothアイコンを同時に5秒以上長押ししてください。

TWSモードを解除するには:

電源を切るか、どちらかのスピーカーのBluetoothアイコンを5秒以上長押ししてください。

ヒント:

- Bluetoothに再接続するため、音源となるデバイス上でPARTYBOXを消去することが必要な場合があります。
- 初期設定では、Bluetooth対応デバイスに接続されたスピーカーがプライマリースピーカー（左チャンネル）として動作し、もう1台がセカンダリースピーカー（右チャンネル）として動作します。

8.3 初期化

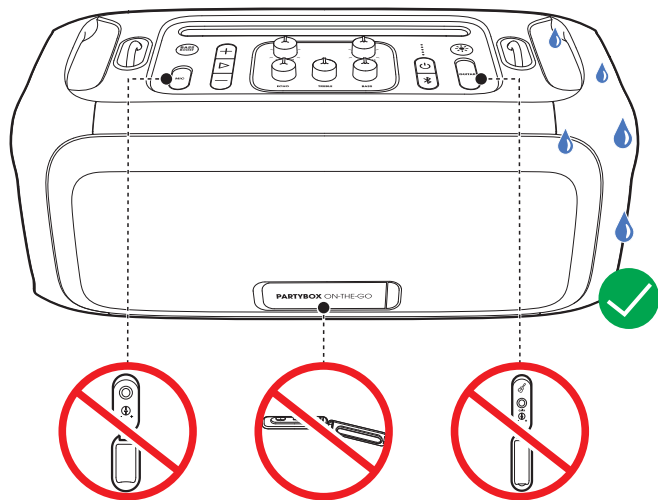
製品を初期化するには、+と▶ ボタンを10秒以上長押ししてください。

8.4 IPX4

警告:

- AC電源に接続する前は、充電ポートを乾いた状態にしておいてください。
- 防沫するため、常に保護カバーをしっかりと閉めておいてください。

このスピーカーはIPX4防沫仕様です。



9. 仕様

製品名:	PARTYBOX ON-THE-GO
AC電源入力:	100-240V~50/60Hz
内蔵バッテリー:	18Wh
消費電力:	60 W
総合出力:	100W RMS (AC電源使用時) 50W RMS (バッテリー使用時)
スタンバイ時消費電力:	Bluetooth接続時で2W未満、 Bluetooth未接続時で0.5W未満
USB出力:	5V == 2.1A
スピーカー構成:	133mmウーファーx1 + 44mmツイーターx2
S/N比:	80dBA以上
周波数特性:	50Hz~20kHz
バッテリー充電時間:	3.5時間未満
バッテリー再生時間:	6時間未満
Bluetoothバージョン:	4.2
Bluetoothプロファイル:	A2DP v1.3、AVRCP v1.6
Bluetooth対応トランスミッター 一周波数帯域:	2.4~2.48GHz
Bluetooth最大トランスミッター 一出力:	10dBm (EIRP)
Bluetooth対応トランスミッター 一変調:	GFSK、π/4 DQPSK、8DPSK
Bluetooth通信距離:	約10m
USBフォーマット:	FAT16、FAT32
USBファイルフォーマット:	.mp3、.wma、.wav
デジタル入力:	Bluetooth/USB -9dBFS
入力感度:	AUX入力:370mV rms マイク:20mV ギター:100mV
製品寸法 (幅x高さx奥行):	490x245x228mm
正味重量:	約7.5kg

*6時間のバッテリー再生時間は目安で、再生する音楽の種類や充放電を繰り返した後の充電電池の劣化具合に応じて異なることがあります。特定の音源を音量13、ライトショーモードオフ、Bluetoothでのストリーミングで実現可能です。

ワイヤレスマイクのスペック

周波数特性:	65Hz～15kHz
S/N比:	60dBA以上
UHF周波数帯域:	470～960MHz (販売される地域によって異なります) (EU 657～662MHz)
トランスミッター送信電力:	10mW未満
マイクの電池再生時間:	10時間未満
トランスミッターとレシーバー間の距離:	10m未満

10.トラブルシューティング

警告:

- 絶対に、ご自身でこの製品を修理しようとししないでください。この製品の使用中に問題がある場合は、サービスを依頼する前に以下の点をチェックしてください。

システム

スピーカーの電源が入りません。

- スピーカーのバッテリーが切れていないかご確認ください。切れていない場合は、代わりにAC電源を使用してください。

一部のボタンが反応しません

- 製品がデモモードになっている可能性があります。デモモードでは、+/-/▶/※/BOOST以外の全ての入力ソースとボタンが無効になります。デモモードを解除するには、▶ と BOOST ボタンを同時に5秒以上長押ししてください。

サウンド

スピーカーから音が聞こえません。

- スピーカーの電源が入っていることをご確認ください。
- 音量を調節してください。
- 音源がアクティブでミュート状態でないことをご確認ください。

Bluetooth

デバイスをスピーカーに接続できません。

- デバイスのBluetooth機能が有効であることをご確認ください。
- すでにスピーカーが別のBluetooth対応デバイスに接続されています。スピーカーの※ボタンを20秒以上長押しして接続を解除し、新しいデバイスとペアリングしてください。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くないです。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。デバイスをスピーカーにもっと近づけるか、デバイスとスピーカーの間に何も置かないようにしてください。

ワイヤレスマイク

マイクから反応がありません。

- マイクの電源を入れてください。
- 電池残量が少ない場合は、電池を交換してください。
- マイクとスピーカーを手動でペアリングしてください ([6.5.1 マイクの接続](#)をお読みください)。

11.法令順守

この製品は欧州連合エネルギー基準を順守しています。

Bluetooth接続モード

この製品はBluetooth接続経由で音楽をストリーミングして使用することを意図しています。お客様はスピーカーにBluetoothオーディオをストリームすることができます。この製品をBluetooth接続する場合、確実に適切な動作をするように、Bluetooth接続は常にアクティブなままでなければなりません。

この製品は操作しないまま20分経つと、スリープモード(ネットワークスタンバイ状態)に入ります。スリープモードの消費電力は2.0W未満で、その後Bluetooth接続を通して再度電源をオンにすることができます。

Bluetooth接続解除モード

この製品は操作しないまま20分経つと、スタンバイモードに入ります。スタンバイモードの消費電力は0.5W未満です。

12.商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



ハーманインターナショナルインダ
ストリーズ (HARMAN International
Industries, Incorporated) 8500 Balboa
Boulevard, Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2020 HARMAN International Industries, Incorporated (ハーманインターナショナルインダ
ストリーズ)。無断複写・転載を禁じます。JBLは、ハーманインターナショナルインダストリーズ
(HARMAN International Industries, Incorporated) の、米国および/またはその他の国々の商標
です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。